

Let's enjoy living in Matsuura-city! 青の大学 Journal March, 2021

辻田さんはなぜ古民家再生にこだわるのか？



昭和2年に建てられた空き家（御厨町里免）。かつて薬の代理店で、看板や薬棚が残っていた。



改修後の「泉の家」。イベントや会議等にレンタルできる。見学可能・要予約 ☎0956-72-1447

移住・定住
支援情報

青大新聞

Vol.37

空き家の活用が
地域の賑わいに
つながる。

一級建築士で、住宅・建築物の新築、増改築等の設計を行う辻田さん。松浦市役所に建築技師として約33年勤務後、建築事務所を立ち上げ、古民家再生に注力しています。空き家を長く放置すると、空気が流れないため虫が湧きやすく老朽化し、倒壊の恐れも出てきます。

古民家の魅力は「大工さんの手仕事。日本の伝統技術そのものが意匠」だそう。古民家とは地域資源であり、再生する事によって、人が居住し、過疎化を抑制し、伝統行事が継承されるなど、地域の賑わいにもつながるそうです。

使っていない部屋や
小屋も活用できる！

空き家再生と言うと、家一棟の改修をイメージしがち。しかし、使っていない部屋や小屋でも再生できるそう。「思い入れのある部屋は残したまま、一棟の家を二棟に分けるやり方もあります。お金のやりくりも色々な方法がある。賃貸は、気の合う人やつながりのある人に貸せばいい。」と、辻田さん。年々増加する松浦への移住希望者にも人気な一方で、数が足りていない古民家。身近な空き家にも活かす方法があるかもしれません。



辻田直太郎さん。コウキラボ代表。
<https://www.kowkilab.com>



松浦市 大人の学び場

青の大学

政策企画課 ふるさと納税・魅力発信室

☎0956-72-1111

松高だより

■大学入学共通テスト受験者出陣式

1月15日（金）、大学入学共通テスト受験者出陣式が行われ、3年生22名が参加しました。学校長・3学年主任・2年生代表生徒による激励の言葉の後、受験者を代表して宮崎帆乃花さん（今福中学校出身）が「いつも私たちを支えてくれる周囲の方々への感謝の気持ちを決して忘れることなく、自分の力を信じ、精一杯全力で共通テストに臨みましょう」と呼びかけました。



■進学講演会 ～2次試験等を控えた3年生が受講しました～

1月20日（水）、進学講演会を行いました。講師としてお招きしたベネッセコーポレーション顧問の田川祐治先生（元・長崎西高等学校長）は、共通テストを終え、今後、国公立大学2次試験などに臨む3年生に向けて、合格するための秘訣を伝えてくださいました。百武歩さん（志佐中学校出身）は「講演を聞いて、志望校に受かりたい気持ちがより強くなった」と語りました。

